

学校推薦型選抜（小論文） 2023 年度過去問題

学校推薦型選抜〔特技推薦・書道部門〕

問. 次の一節は、中国唐時代の書論 孫過庭の「書譜」口語訳である。この言葉を参考にしつつ、現代の書芸術や自身の書についての思いや考え方、これからの書について 800 字以内で自由に述べよ（字数には句読点を含む）。

そもそも質実とか華美は時代の風潮によってうつり変わるものである。〔太古において〕記号が創られたときは、もっぱらことばだけを表記したのだが、〔時代の推移とともに、その〕内容も自然とうつり、質朴から飾り多いものへと幾変遷もしてきた。〔文化の〕めまぐるしい変遷は、事物当然の道理である。〔したがって〕古法に則して現代感覚にずれず、現代風でいて時弊に同調しないことが大切である。〔これこそ『論語』の〕いわゆる「素朴と文明を調和した人にして、はじめて有徳の君子」ということなのである。どうして〔古質こそ尊ばれるべきものであるからといって〕いまさら豪華な宮殿があるのに穴居野處する生活にかえようとし、立派な乗りものがあるにもかかわらず粗末な車に乗りかえる必要があろうか。

（出典：中田勇次郎. 中国書論大系第 2 巻 唐 1. 二玄社, 1977, 100 頁～101 頁の一部を抜粋.）

学校推薦型選抜〔総合学科専門学科推薦〕

問. 次の文章は、「麦秋」という表題のコラム記事です。世界や日本の食料（糧）・農業事情を改善するためには、どうすればよいのでしょうか。あなたの考えを、800 字以内で述べなさい（字数には句読点を含む）。

滋賀県内のあちこちで、田植えを終えた水田に交じり、薫風にそよぐ麦の穂波を目にする▼秋に種をまいた麦は初夏に収穫する。早ければ今月下旬にも黄金色に染まる畑で刈り取りが始まる。農家の労苦が報われる楽しい季節だろう。だが、日本から約 9 千キロ離れた世界有数の産地ウクライナでは、農家たちが不安の中で麦秋を迎えようとしている▼ロシアによる軍事侵攻で農作業がままならず、戦闘の激しい東部や南部では農地が戦車などで踏み荒らされ、避難している農家も少なくないようだ▼国連食糧農業機関（FAO）によると、ウクライナは世界第 5 位の小麦輸出国だが、今夏の収穫だけでなく、秋の種まきへの影響も危ぶまれている。港の封鎖などでも年間輸出量の半分近い約 2 5 0 0 万トンの穀物が出荷できない状況という▼供給の停滞は、世界的な小麦の高騰につながっている。エジプトでは主食のパンの小売価格を統制している。国内消費の約 9 割を輸入に頼っている日本も、政府が製粉会社に売り渡す輸入小麦価格が、一昨秋に比べて約 1・5 倍になっている。今秋の改定ではさらなる高値も予想されている▼パンやパスタなど食品の相次ぐ値上げは財布には厳しいが、世界とのつながりを感じさせる。はるか戦地の麦秋に思いを寄せたい。

（出典：「コラム凡語：麦秋」『京都新聞』2022 年 5 月 11 日朝刊、1 面）